

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社牧野フライス製作所（証券コード:6135）

### 【見直し変更】

長期発行体格付 **BBB+**  
格付の見直し **安定的 → ポジティブ**

### 【据置】

債券格付 **BBB+**

### ■格付事由

- (1) 工作機械の專業大手。主力であるマシニングセンタのほか、放電加工機やフライス盤なども手掛ける。高速・高精度・高剛性を兼ね備えたハイエンド製品に強みを有し、自動車、一般機械、プラスチック金型、航空機分野など、幅広い顧客と強固な取引関係を構築している。近年はユーザーの設備構想から納入・保全まで一括して手掛けるターンキーエンジニアリングで実績を積み上げている。
- (2) 収益基盤の強化が進んでいる。国内工作機械の需要がピークに達していない中でも、拡大が続く海外での事業基盤強化が奏功し、過去最高のキャッシュフロー水準が継続している。工作機械の需要変動リスクには留意を要するが、足元の受注状況を考慮すると当面高水準のキャッシュフローを維持可能と見ている。加えて、キャッシュフロー創出力の向上が財務構成の改善につながっており、需要変動に対する財務耐久力が高まりつつある。以上より格付は据え置くものの、見直しをポジティブに変更した。
- (3) 15/3期以降の営業利益はおおむね100億円超の水準を維持している。従来主力であった国内金型産業の海外移転の影響はあるものの、海外でのターンキーエンジニアリングや航空機分野などの強化によりカバー出来るようになり、利益の安定性が高まりつつある。19/3期営業利益は151億円（前期比0.5%増）の見直し。国内の半導体関連や中国の自動車関連などを中心に高水準の受注が継続すると見られる。引き続き高付加価値製品の受注拡大によりトップラインを引き上げ、利益増加に結び付けることが出来るか注視していく。
- (4) 純利益の継続的な蓄積などにより、リスクバッファーとなる自己資本は直近ボトムである10/3期末788億円から18/3期末1,517億円まで大きく拡充した。これにより自己資本比率は47.6%から56.3%まで向上している。さらに18/3期末にはネット・キャッシュ・ポジションとなり、資金的余裕度が高まりつつある。今後、財務構成が更に改善するか注視していく。

(担当) 里川 武・外窪 祐作

### ■格付対象

発行体：株式会社牧野フライス製作所

### 【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	BBB+	ポジティブ

### 【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第7回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2016年9月1日	2026年9月1日	0.50%	BBB+

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年5月31日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：里川 武
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「機械」(2011年12月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社牧野フライス製作所
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル